

第 I 部 調査結果の概要

1 平成 26 年の概況

～ 生産・出荷・在庫指数とも、前年から上昇 ～

○ 鉱工業指数は、生産・出荷・在庫共にわずかではあるが前年を上回った。(生産 104.5 [前年比 2.4%上昇], 出荷 101.9 [前年比 1.7%上昇], 在庫 113.0 [前年比 1.2%上昇])

～四半期別 (季節調整済指数) でみると～

- 生産指数は、平成 26 年 I 期には前期を上回ったものの、平成 26 年 II 期に 3 期ぶりに前期比を下回った。
- 出荷指数は、平成 26 年 I 期には前期を上回ったものの、平成 26 年 II 期に 3 期ぶりに前期比を下回った。
- 在庫指数は、平成 25 年 III 期からプラスで推移していたものの、平成 26 年 IV 期に 6 期ぶりに前期比を下回った。

(1) 鉱工業生産指数

鉱工業生産指数は、104.5(前年比 2.4%上昇)。3 年連続で前年を上回った(図 1)。業種別にみると、一般機械工業(総合)、電気・情報通信機械工業、輸送機械工業など 9 業種が上昇し、金属製品工業、木材・木製品工業、食料品・たばこ工業など 9 業種が低下した(図 2)。

(2) 鉱工業出荷指数

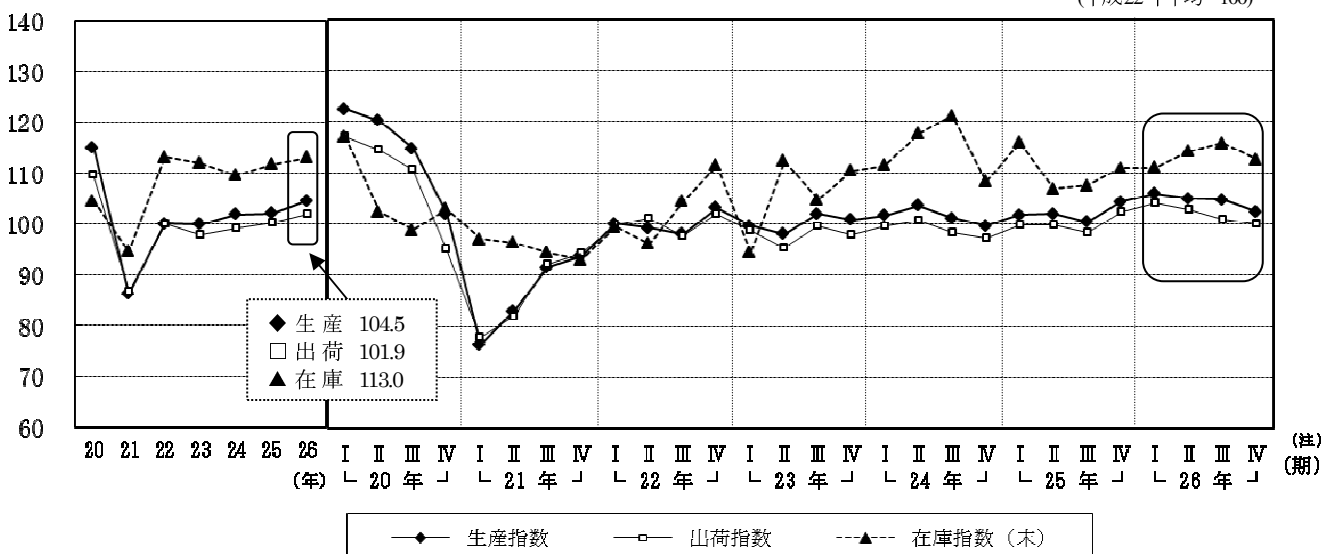
鉱工業出荷指数は、101.9(前年比 1.7%上昇)。3 年連続で前年を上回った(図 1)。業種別にみると、輸送機械工業、鉄鋼業、一般機械工業(総合)など 9 業種が上昇し、金属製品工業、非鉄金属工業、木材・木製品工業など 9 業種が低下した。

(3) 鉱工業在庫指数 (末)

鉱工業在庫指数(期末在庫)は、113.0(前年比 1.2%上昇)。2 年連続で前年を上回った(図 1)。業種別にみると、化学工業、一般機械工業(総合)、金属製品工業など 9 業種が上昇し、繊維工業、鉱業は横ばい、輸送機械工業、鉄鋼業、プラスチック製品工業など 6 業種が低下した。

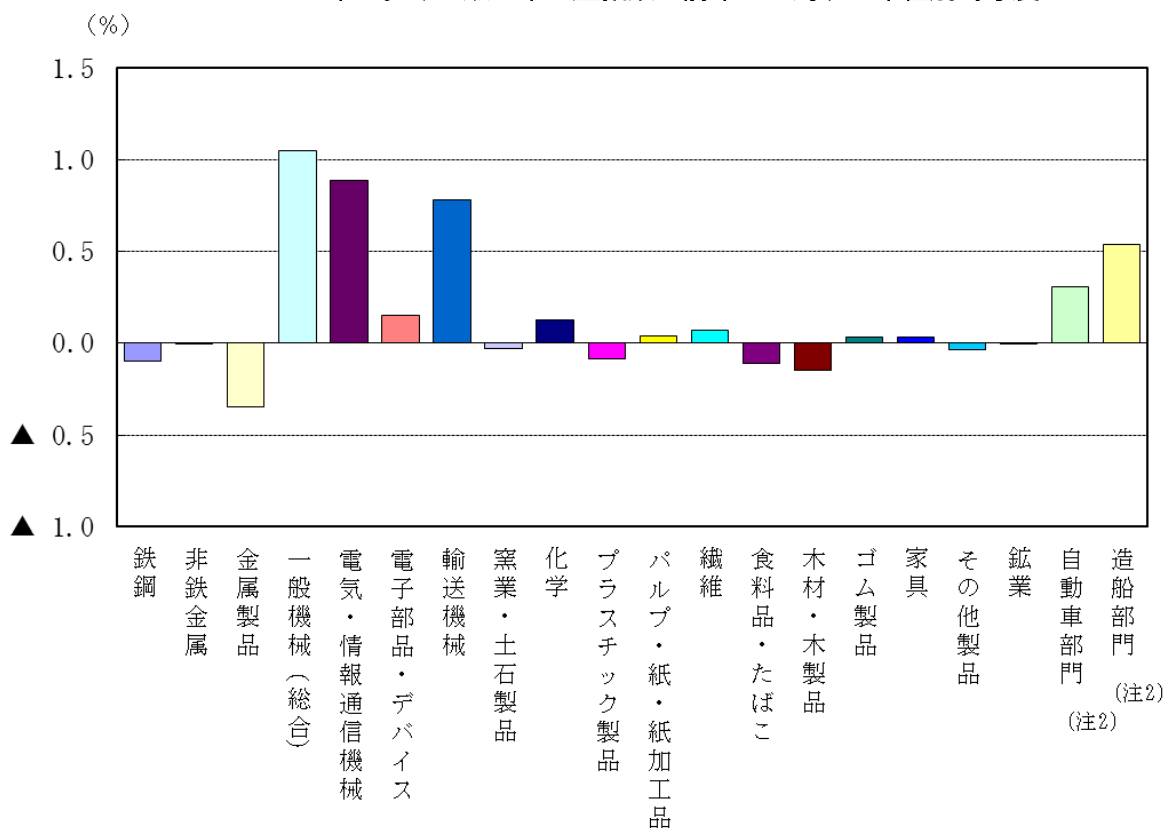
図 1 鉱工業指数の推移 (年は原指数, 四半期は季節調整済指数)

(平成 22 年平均=100)



(注) I 期: 1~3 月, II 期: 4~6 月, III 期: 7~9 月, IV 期: 10~12 月

図2 平成26年における鉱工業生産指数の前年比に対する業種別寄与度^(注1)



(注1) 寄与度とは、鉱工業指数全体の上昇・低下に対し、各業種の上昇・低下が、どの程度影響を与えているかを示したものである。

(注2) 自動車部門とは、輸送機械工業18品目のうち、小型自動車など自動車関連12品目と、電気・情報通信機械工業の自動車用電気照明器具の合計である。

造船部門とは、輸送機械工業のうち、船用ディーゼル機関など造船関係5品目の合計である。

2 生産の業種別動向（寄与度順）

(1) 前年比が上昇した主な業種

上昇した主な業種	前年比	寄与度	上昇した主な品目
一般機械工業(総合)	5.9%	1.0%	ショベル系掘削機, 半導体製造装置, プレス用金型
電気・情報通信機械工業	23.2%	0.9%	電気計器, 携帯電話, アーク溶接機
輸送機械工業	2.3%	0.8%	鋼船新造, ディーゼルエンジン, シャシー及び車体部品

(2) 前年比が低下した主な業種

低下した主な業種	前年比	寄与度	低下した主な品目
金属製品工業	▲15.9%	▲0.3%	橋りょう, グレーチング, 一般缶
木材・木製品工業	▲7.6%	▲0.1%	製材品, 特殊合板, パーティクルボード
食料品・たばこ工業	▲3.2%	▲0.1%	飲用牛乳, しょうゆ, 清涼し好飲料

3 関連業種別生産指数の推移

機械関連業種は2年ぶりの上昇、素材関連業種は5年ぶりの低下

業種別の生産指数を、機械関連業種、素材関連業種、生活関連業種の3関連業種に分けて分析すると^(注)、平成26年は、機械関連業種は2年ぶりの上昇、素材関連業種は5年ぶりの低下、生活関連業種は横ばいである。機械関連業種以外は、大幅な増減はなく、前年からほぼ横ばいで推移している。(図3、4)。

図3 鉱工業生産指数の前年比の推移

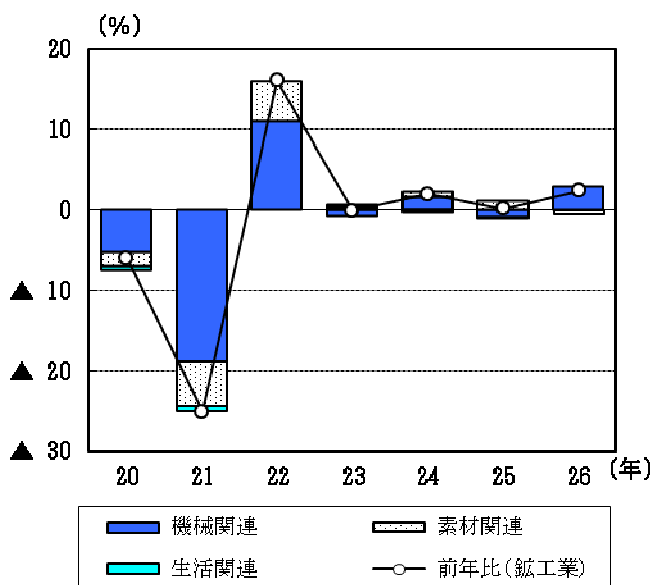
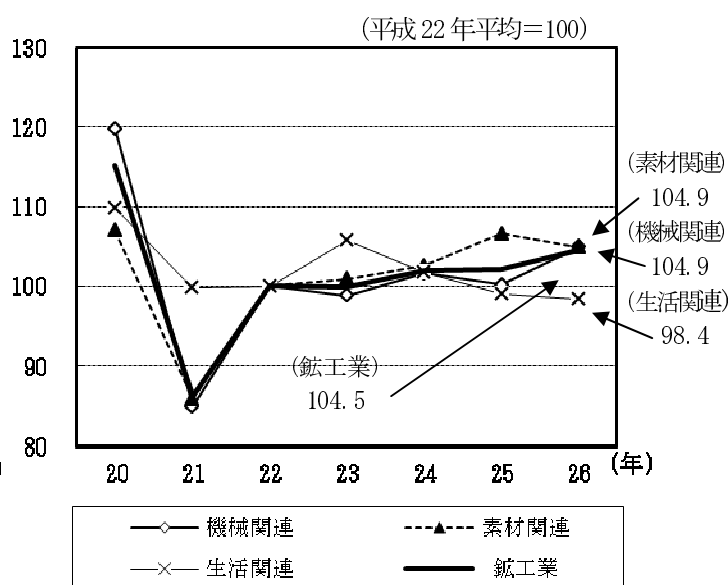


図4 関連業種別生産指数の推移



(注) 各関連業種の分類は、次のとおりとした。

機械関連業種：一般機械工業(総合)、電気・情報通信機械工業、電子部品・デバイス工業、輸送機械工業の4業種

素材関連業種：鉄鋼業、非鉄金属工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業、化学工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、木材・木製品工業、ゴム製品工業の9業種

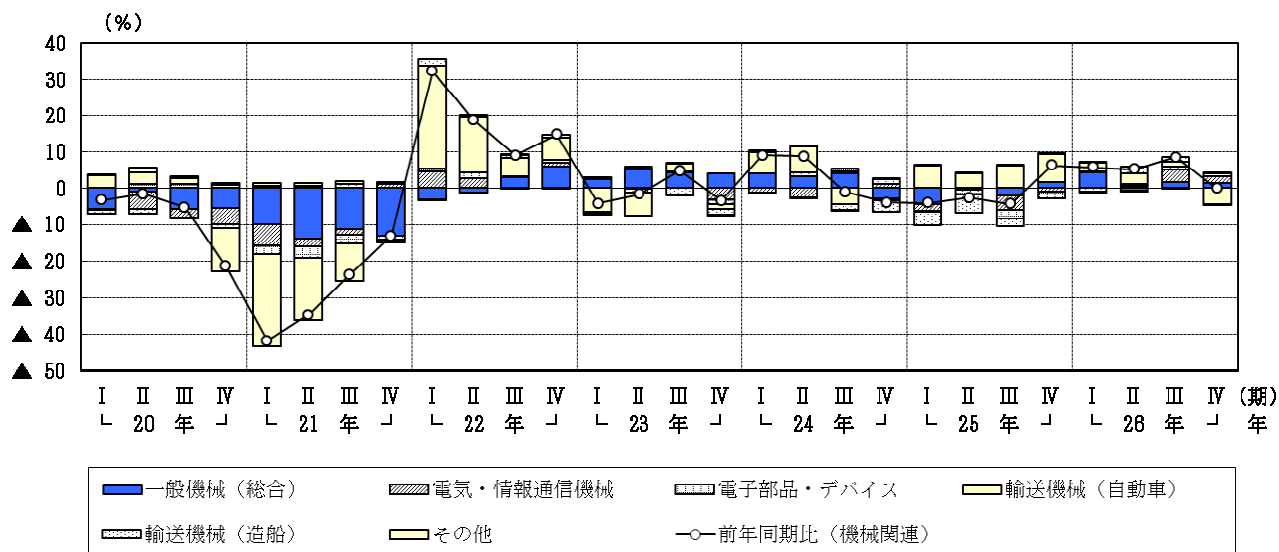
生活関連業種：繊維工業、食料品・たばこ工業、家具工業、その他製品工業の4業種

(1) 機械関連業種の生産指数の推移

機械関連業種の生産指数は、平成26年Ⅳ期で5期ぶりにマイナスへ転じた

機械関連業種の生産指数は、電気・情報通信機械工業が前年同期比プラスで推移したものの、輸送機械工業(自動車)がⅣ期で低下に寄与した。このため、平成26年Ⅰ～Ⅲ期は前年同期比上昇(Ⅰ期前年同期比5.7%、Ⅱ期前年同期比5.1%、Ⅲ期前年同期比8.4%)したものの、平成26年Ⅳ期は前年同期を下回った(図5)。

図5 生産指数（機械関連業種）の前年同期比の推移及び業種別寄与度



① 一般機械工業（総合）

一般機械工業（総合）の生産指数は、125.7（前年比5.9%上昇）。ボイラの部品、圧延機械及び同付属装置などが低下したものの、ショベル系掘削機、半導体製造装置などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成26年II期は3期ぶりにマイナスに転じたものの、III期で再びプラスに転じた。

② 電気・情報通信機械工業

電気・情報通信機械工業は、81.9（前年比23.2%上昇）。工業用計測制御機器、電力変換装置などが低下したものの、電気計器、携帯電話などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成26年I期は5期ぶりにプラスに転じ、IV期まで4期連続で前年同期を上回った。

③ 電子部品・デバイス工業

電子部品・デバイス工業は、90.3（前年比2.7%上昇）。モス型半導体集積回路（マイコン）、モス型半導体集積回路（CCD）などが低下したものの、半導体集積回路、液晶用カラーフィルターなどが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成26年II期は平成24年IV期から6期ぶりにプラスに転じ、IV期まで3期連続で前年同期を上回った。

④ 輸送機械工業（自動車部門）

輸送機械工業（自動車部門）は、112.5（前年比1.1%上昇）。小型自動車、自動車用電気照明器具などが低下したものの、ディーゼルエンジン、シャシー及び車体部品などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成25年I期から7期連続プラスで推移していたが、平成26年IV期に平成24年IV期から8期ぶりにマイナスに転じた。

⑤ 輸送機械工業(造船部門)

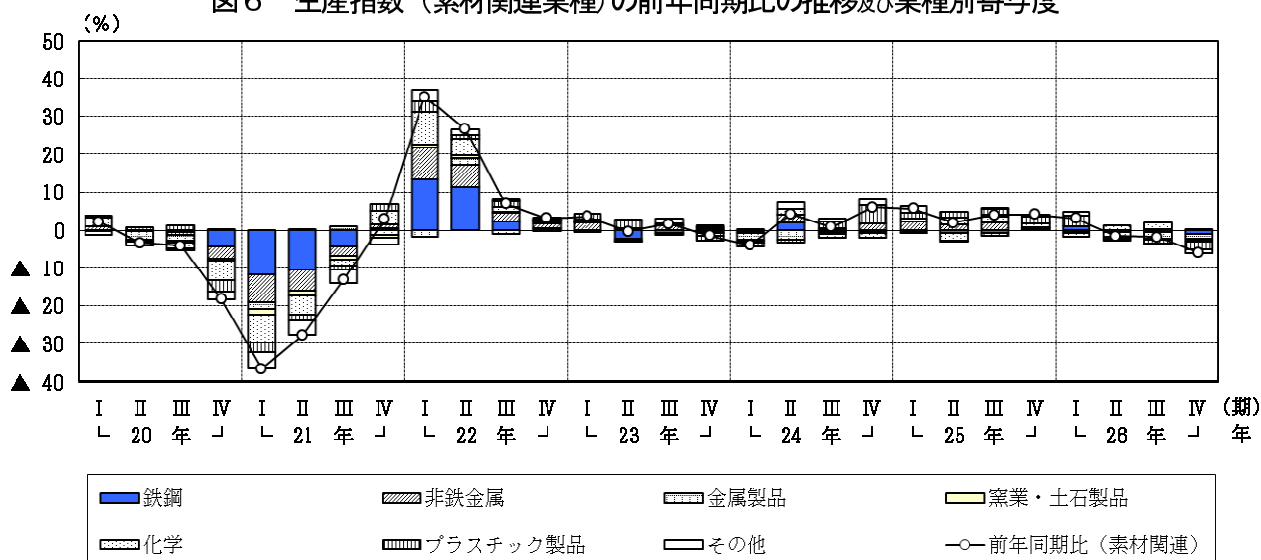
輸送機械工業(造船部門)は、72.6(前年比9.5%上昇)。鉄道用車両部品が低下したものの、鋼船新造、船用ディーゼル機関などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成26年I期は前年同期を下回ったが、II期にはプラスに転じ、IV期まで3期連続で前年同期を上回っている。

(2) 素材関連業種の生産指数の推移

素材関連業種の生産指数は、平成26年II期で9期ぶりにマイナスへ転じた

素材関連業種の生産指数は、鉄鋼業、金属製品工業、プラスチック製品工業、その他製品工業がマイナスで推移したため、平成26年II期には平成24年I期以降9期ぶりに前年を下回り、IV期まで3期連続で前年同期を下回っている(図6)。

図6 生産指数(素材関連業種)の前年同期比の推移及び業種別寄与度



① 鉄鋼業

鉄鋼業の生産指数は、94.8(前年比▲1.4%低下)。鋼帯、鋼半製品などが上昇したものの、亜鉛めっき鋼板、普通鋼冷延広幅帯鋼などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成26年I期は平成25年IV期から2期連続で前年同期を上回ったが、平成26年II期にはマイナスに転じ、IV期まで3期連続で前年同期を下回った。

② 金属製品工業

金属製品工業は、77.8(前年比▲15.9%低下)。水門、電気溶接棒などが上昇したものの、橋りょう、グレーチングなどが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成26年I期は平成25年I期から4期ぶりにマイナスに転じ、平成26年は全期で前年を下回った。

③ 化学工業

化学工業は、99.7(前年比3.0%上昇)。酸化第二鉄、フルオロカーボンなどが低下したものの、ポリスチレン、医薬品などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成26年I期とIV期は前年同期を下回り、II期とIII期は前年同期を上回っている。

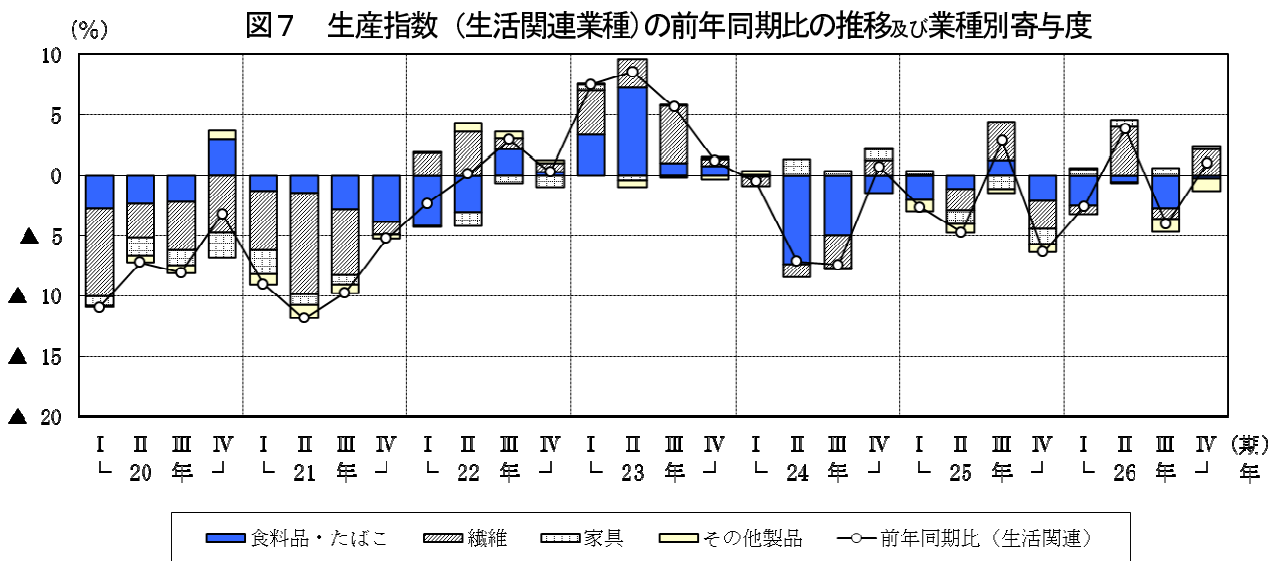
④ プラスチック製品工業

プラスチック製品工業は、116.6(前年比 ▲1.2%低下)。フィルム、日用品・雑貨などが上昇したものの、容器、パイプなどが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成26年Ⅰ期は平成24年Ⅲ期から7期連続で前年同期を上回ったが、平成26年Ⅱ期にはマイナスに転じ、Ⅳ期まで3期連続で前年同期を下回った。

(3) 生活関連業種の生産指数の推移

生活関連業種の生産指数は、マイナス傾向で推移

生活関連業種の生産指数は、家具工業が前年同期比プラスで推移したものの、食料品・たばこ工業、その他製品工業などが低下に寄与した。このため、平成26年Ⅱ期とⅣ期は前年同期を上回ったものの、平成26年Ⅰ期とⅢ期は前年同期を下回った(図7)。



① 食料品・たばこ工業

食料品・たばこ工業の生産指数は、93.5(前年比 ▲3.2%低下)。瓶詰・缶詰、乳飲料などが上昇したものの、飲用牛乳、しょうゆなどが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成25年Ⅳ期にマイナスに転じ、平成26年は全期で前年を下回った。

② 繊維工業

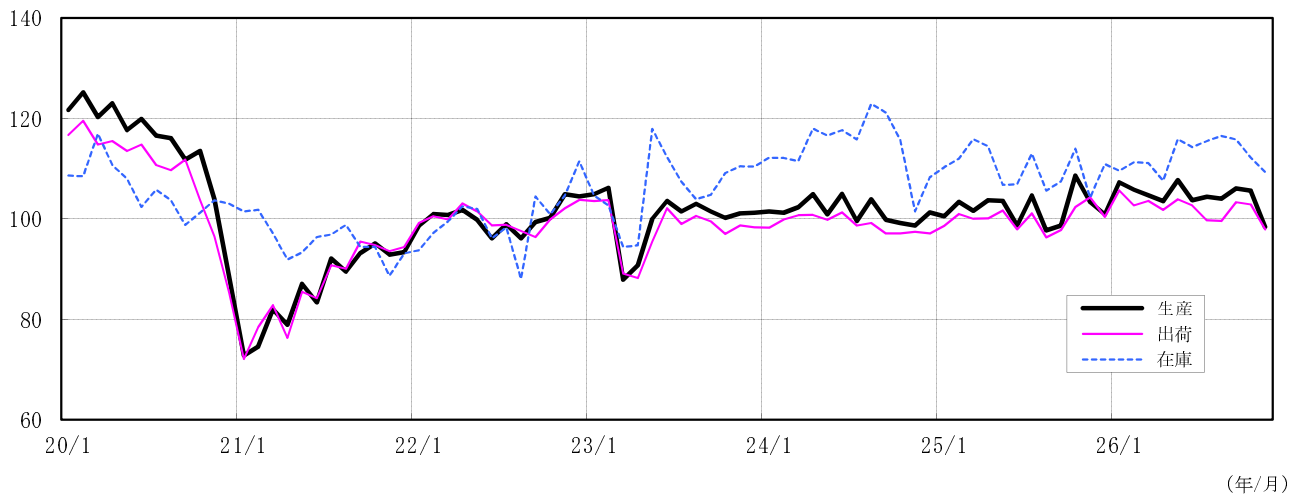
繊維工業は、108.8(前年比 3.2%上昇)。綿織物、織物製外衣などが低下したものの、再生・半合成繊維短繊維、化学合成繊維などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成26年Ⅱ期、Ⅳ期は前年同期比を上回ったが、平成26年Ⅰ期、Ⅲ期は前年同期比を下回った。

③ その他製品工業

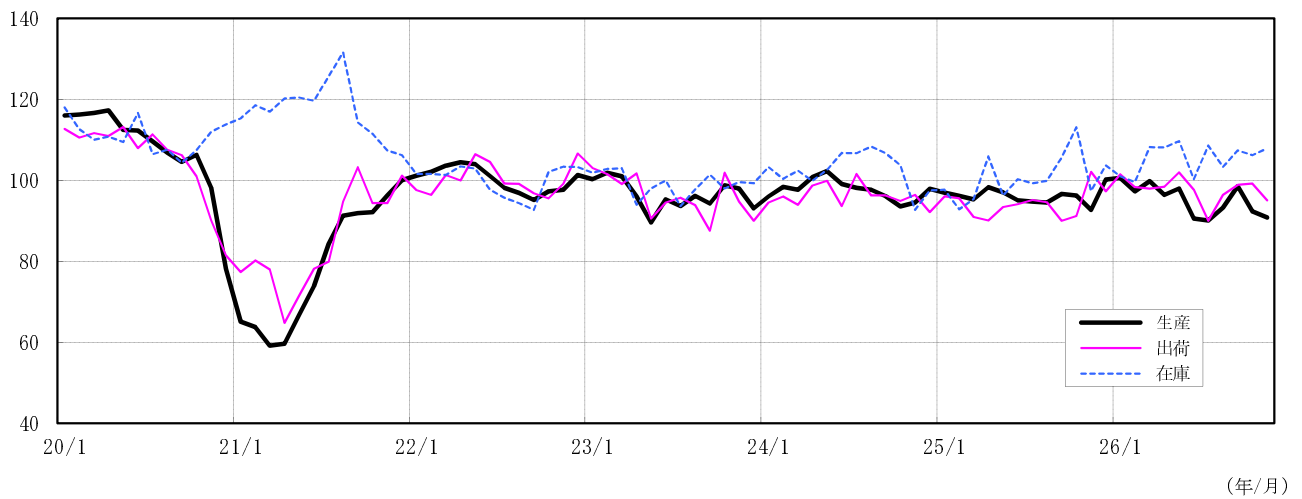
その他製品工業は、86.4(前年比 ▲5.4%低下)。毛筆、ボールペンなどが上昇したものの、平版印刷、電動玩具などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成26年はⅠ期で5期ぶりにプラスに転じたものの、Ⅱ期にマイナスに転じ、Ⅳ期まで3期連続で前年同期を下回った。

4 主要業種別季節調整済指数の推移（平成22年平均＝100）

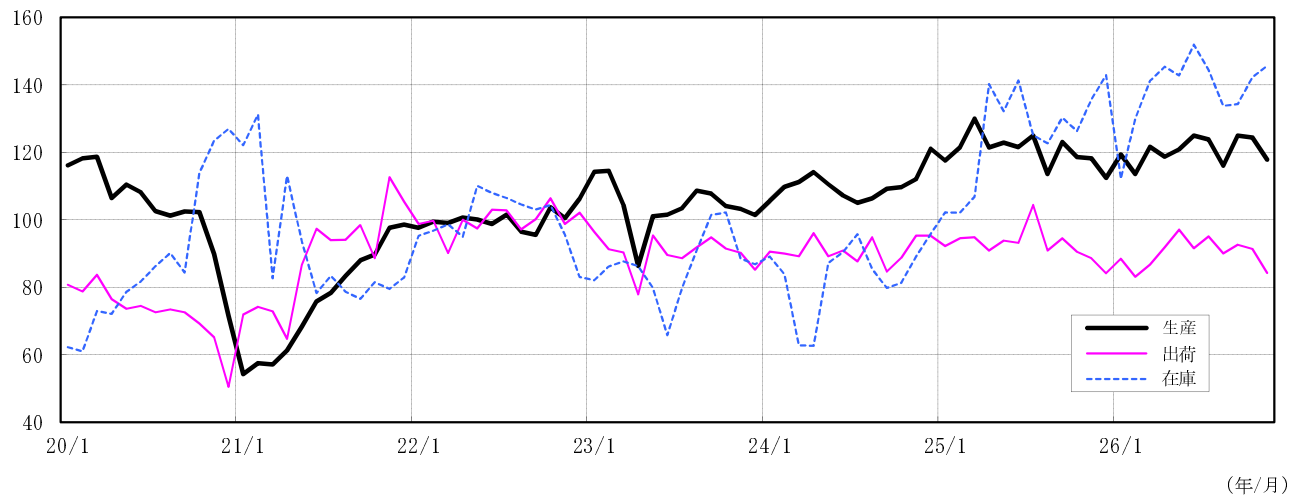
鋳工業（付加価値額ウェイト＝10000.0）



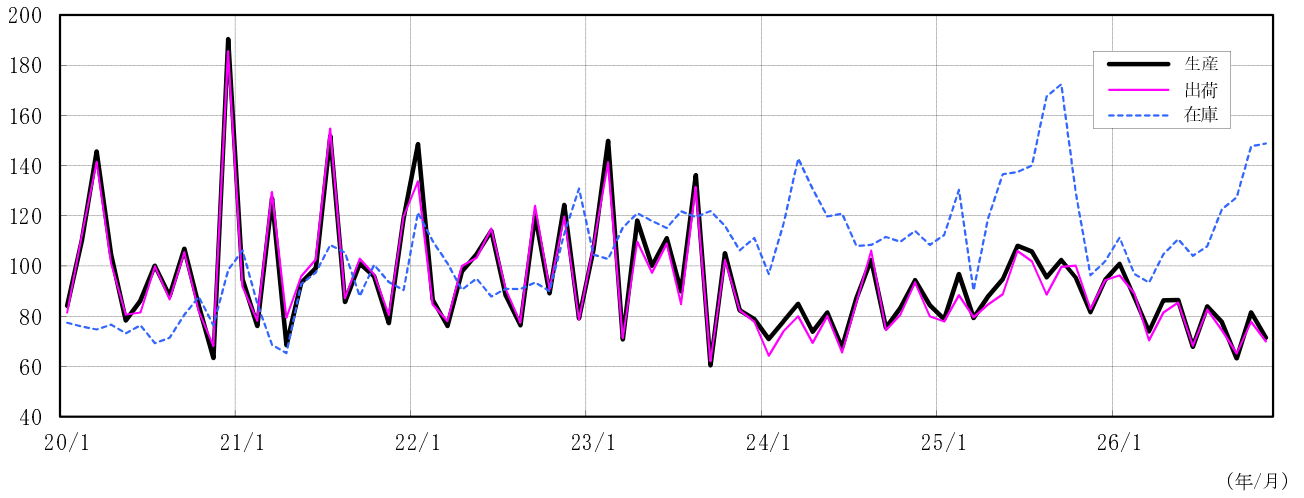
鉄鋼業（付加価値額ウェイト＝778.5）



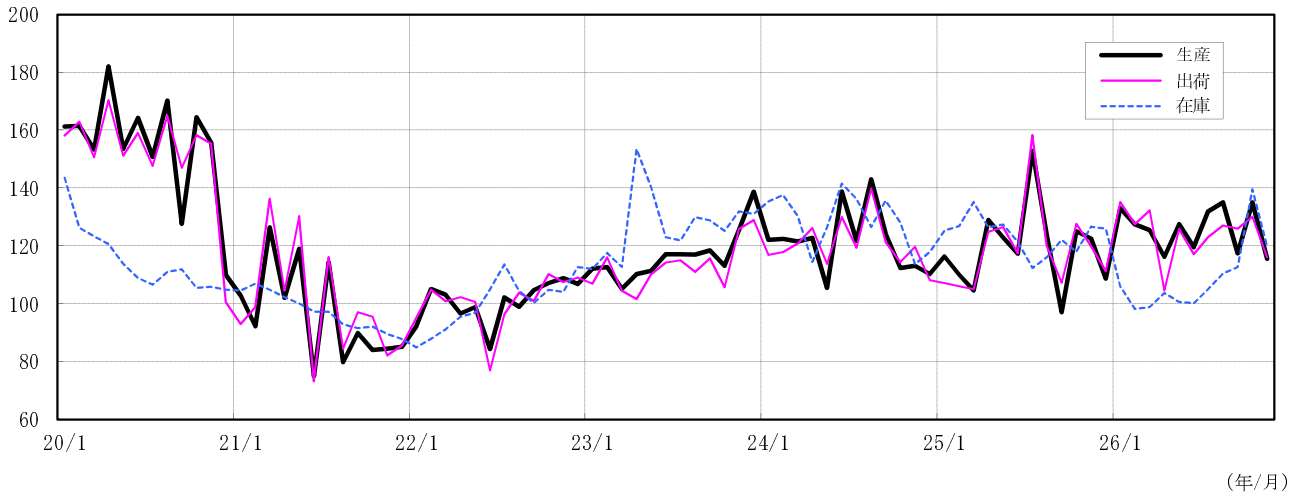
非鉄金属工業（付加価値額ウェイト＝454.1）



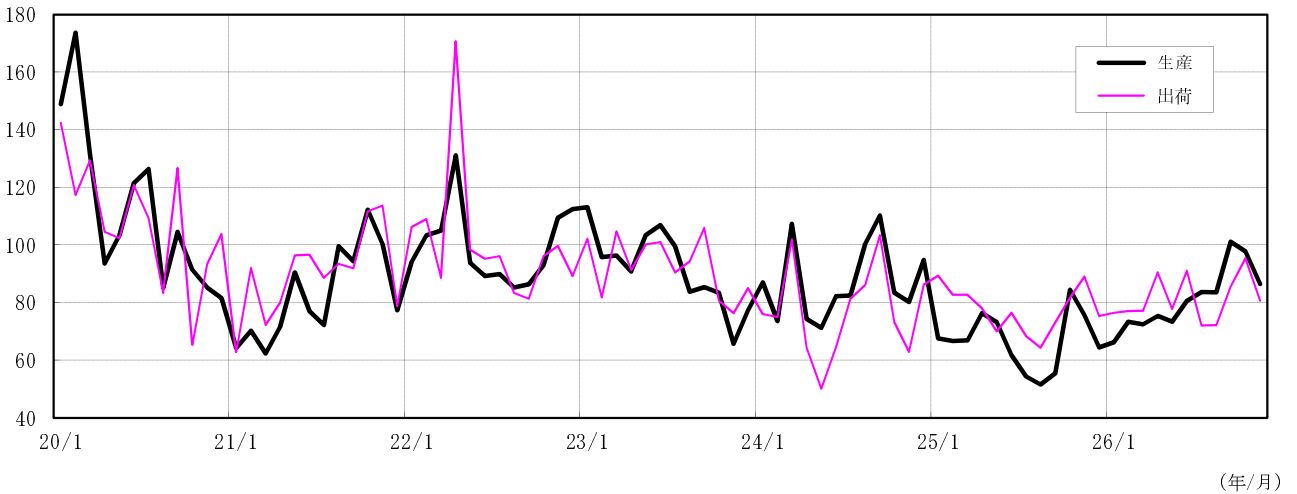
金属製品工業（付加価値額ウェイト＝241.6）



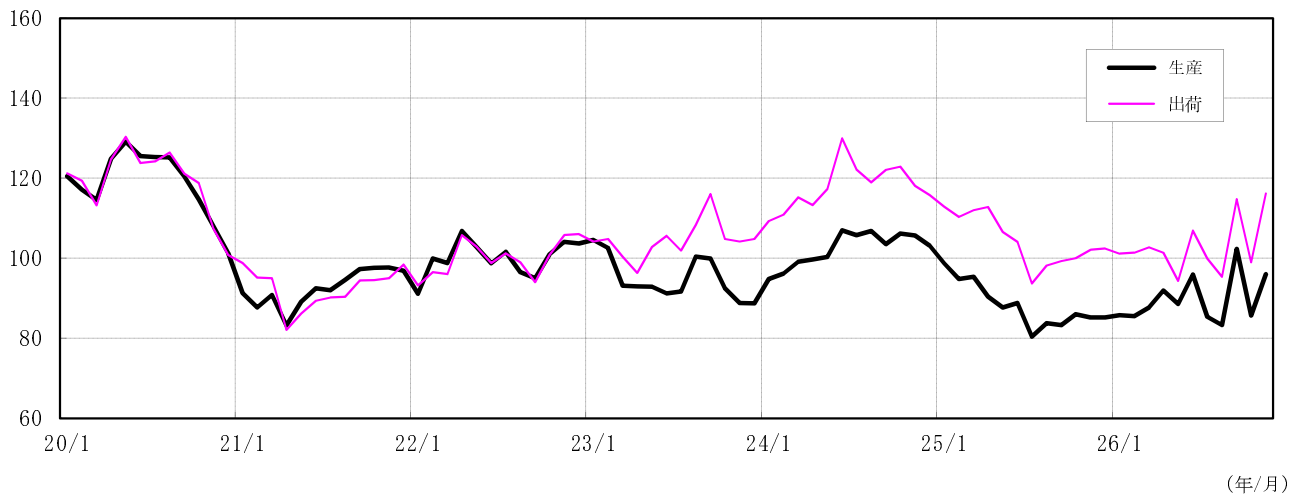
一般機械工業（総合）（付加価値額ウェイト＝1526.6）



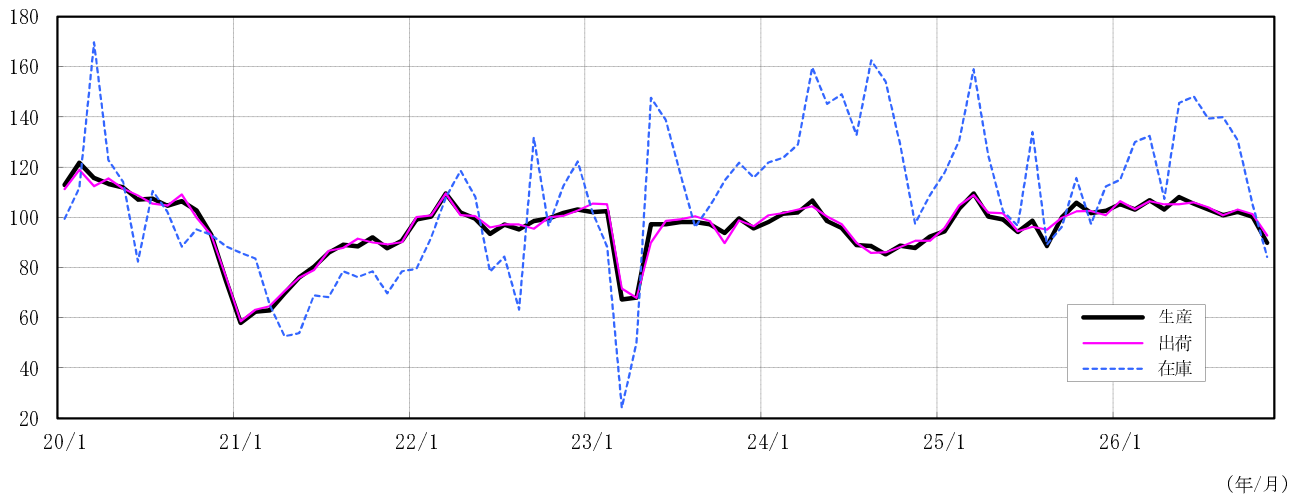
電気・情報通信機械工業（付加価値額ウェイト＝589.9）



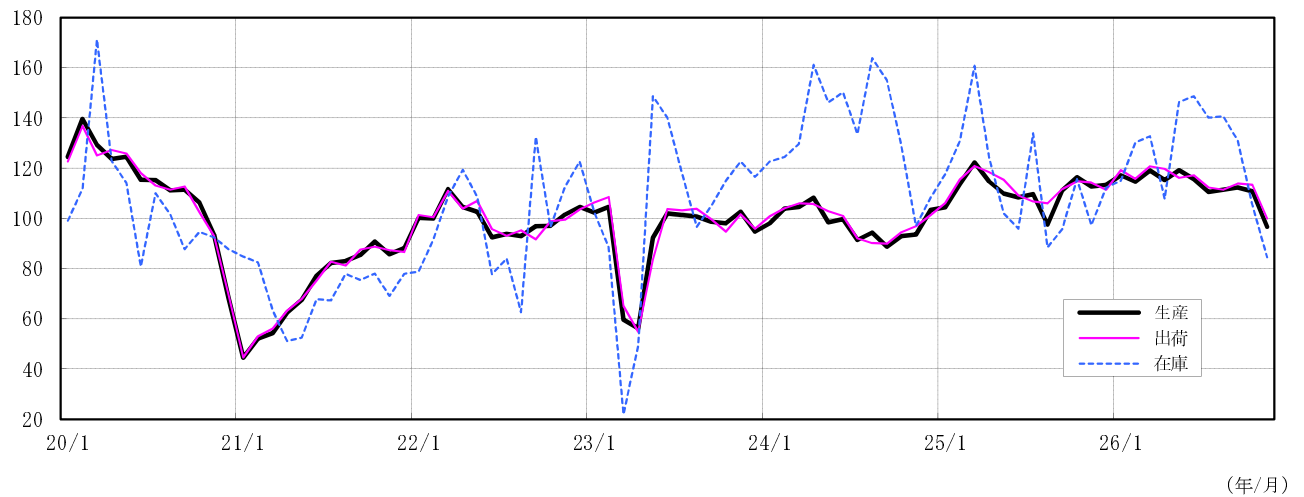
電子部品・デバイス工業（付加価値額ウェイト＝635.9）



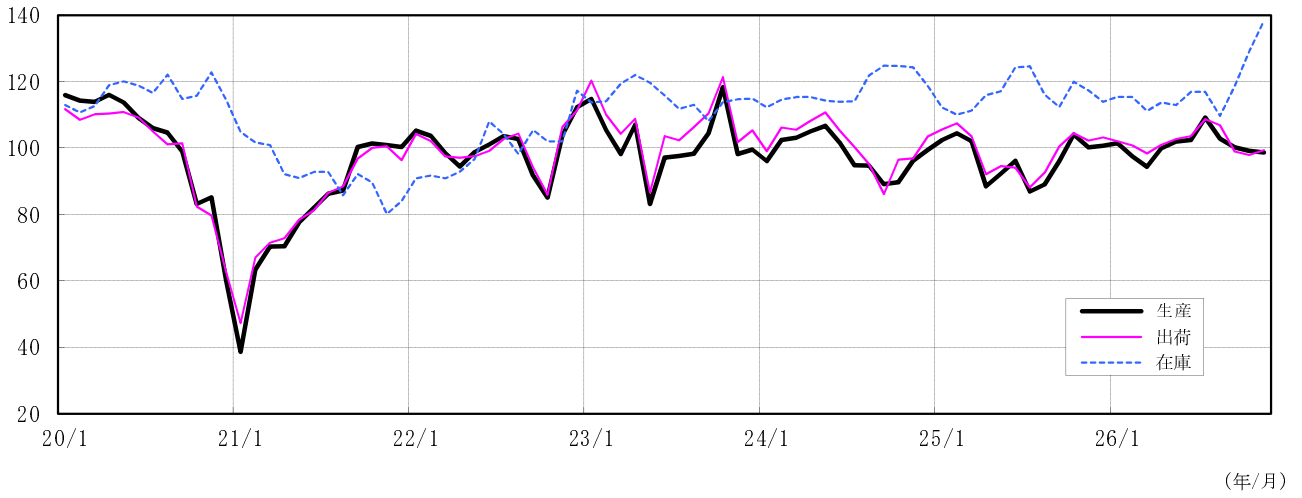
輸送機械工業（付加価値額ウェイト＝3467.7）



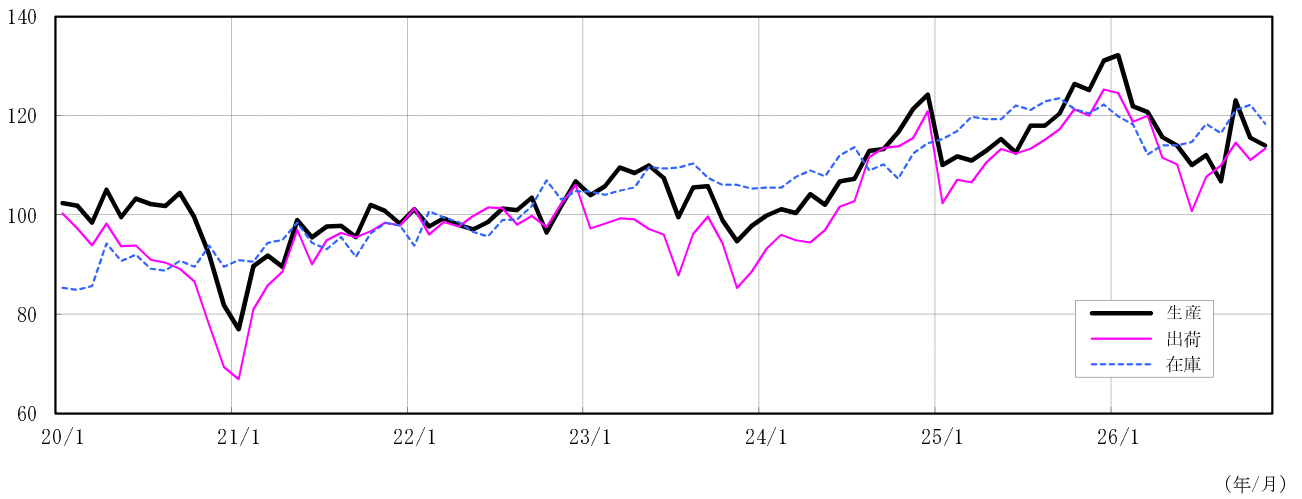
自動車部門（付加価値額ウェイト＝2624.8）



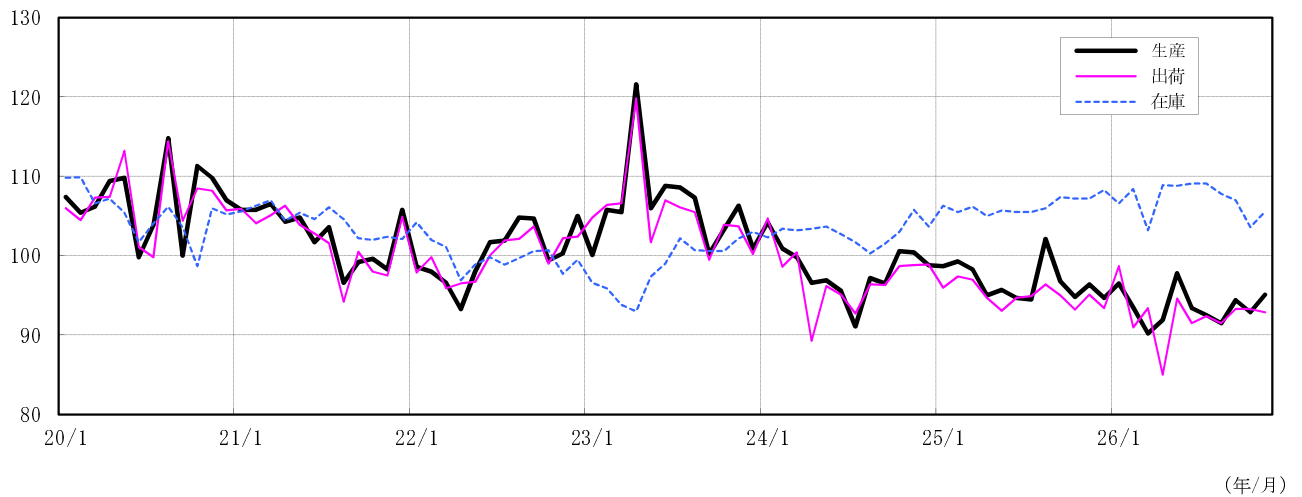
化学工業（付加価値額ウェイト＝447.1）



プラスチック製品工業（付加価値額ウェイト＝604.6）



食料品・たばこ工業（付加価値額ウェイト＝357.0）



5 広島県、中国地方及び全国における鋳工業生産指数の推移

平成26年を四半期ごとにみると(図8), 広島県では平成26年Ⅲ期まで前年同期を上回ったが, Ⅳ期は前年同期を下回った。中国地方では平成26年Ⅲ期まで前年同期を上回ったが, Ⅳ期は前年同期を下回った。全国では平成26年Ⅱ期まで前年同期を上回ったが, Ⅲ期以降は前年同期を下回った。

図8-1 広島県の鋳工業生産指数の前年同期比の推移

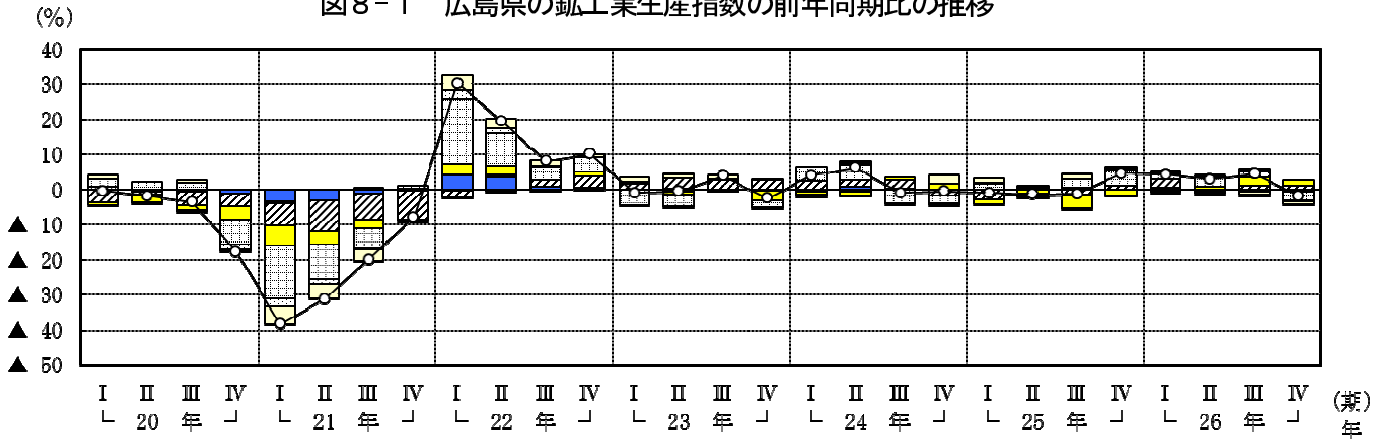


図8-2 中国地方の鋳工業生産指数の前年同期比の推移

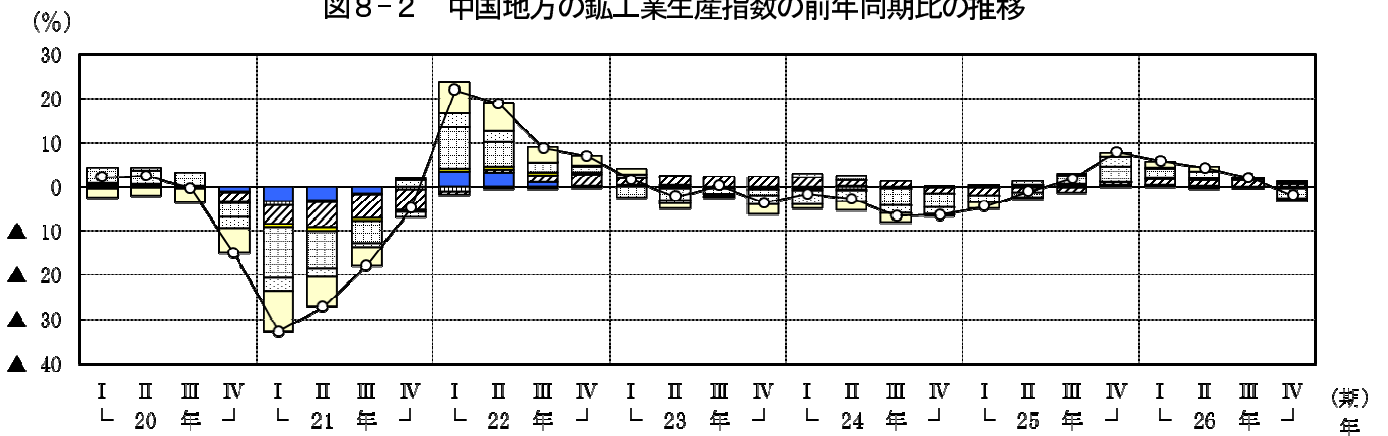
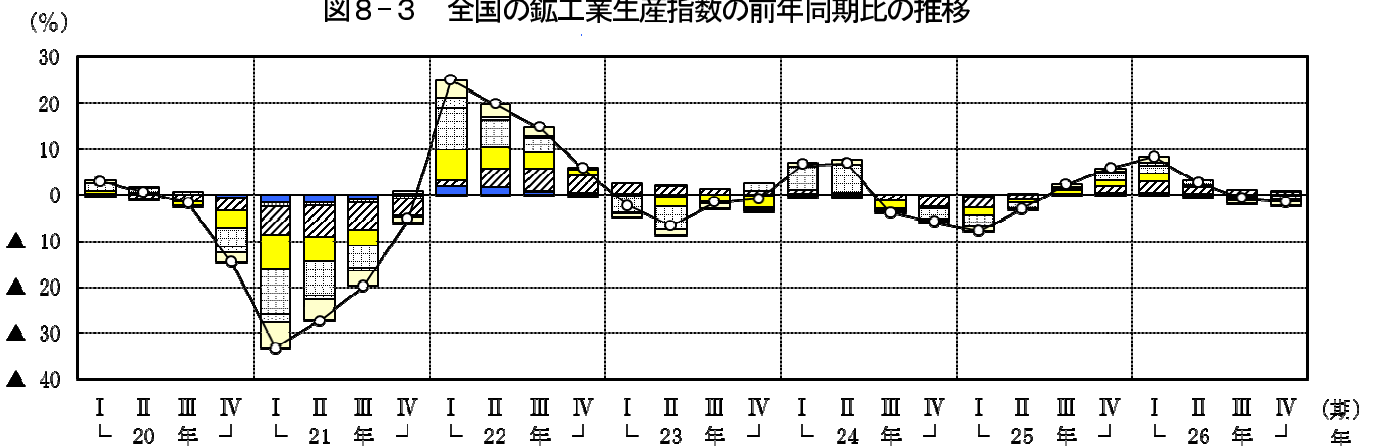


図8-3 全国の鋳工業生産指数の前年同期比の推移



■ 鉄鋼 ■ 金属製品 ■ 一般機械(総合) ■ 電気機械(総合) ■ 輸送機械 ■ 化学 ■ その他 ○— 鋳工業

出所: 中国地方…「中国地域鋳工業生産動向」(経済産業省中国経済産業局) 全国…「鋳工業生産・出荷・在庫指数」(経済産業省)

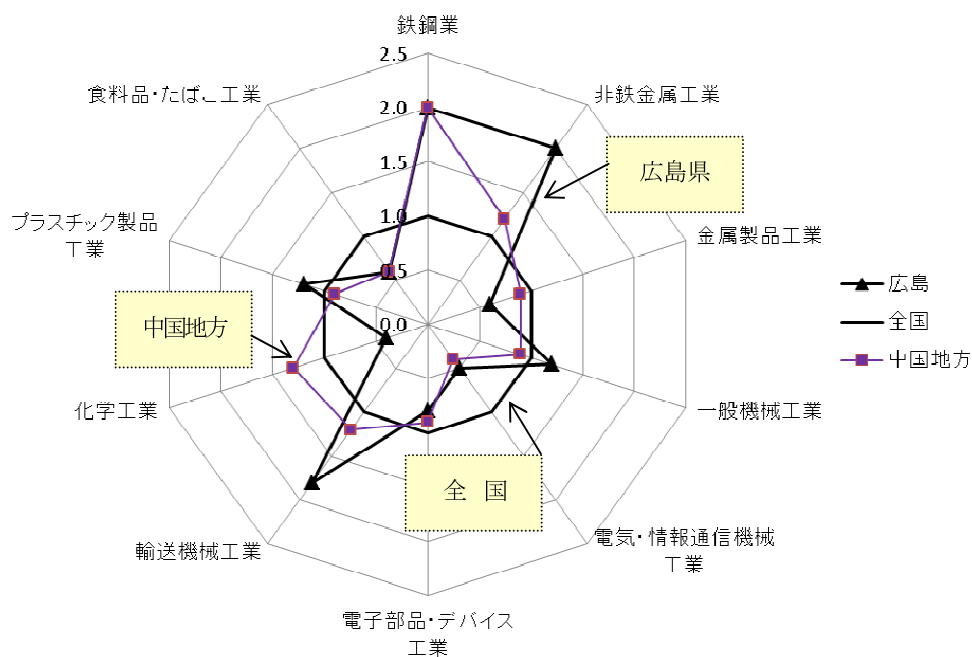
広島県の平成26年鉱工業生産指数は、前年とやや横ばいで推移している
 また、広島県の前年同期比は、平成26年Ⅲ期は中国地方の前年同期比を上回ったが、Ⅰ期～Ⅱ期は前年同期比を下回った。

参考 鉱工業生産指数の付加価値額ウェイト(平成22年基準)について

特化係数^(注)を用いて、広島県の主要業種のウェイトが、全国や中国地方と比較してどの程度の偏りがあるか見てみると(図9)、全国との比較では、鉄鋼業、非鉄金属工業、輸送機械工業への特化の度合いが、大きい一方、金属製品工業、電気・情報通信機械工業、化学工業、食料品・たばこ工業の特化の度合いが小さい。中国地方との比較では、非鉄金属工業、輸送機械工業の特化の度合いが大きい、化学工業の特化の度合いが小さい。

図9 主要業種における広島県及び中国地方の特化係数

(各特化係数は、平成22年基準の付加価値額ウェイトにより算出)



生産(付加価値額)ウェイト	鉄鋼業	非鉄金属工業	金属製品工業	一般機械工業	電気・情報通信機械工業	電子部品・デバイス工業	輸送機械工業	化学工業	プラスチック製品工業	食料品・たばこ工業
全国	391.1	232.5	418.1	1273.1	1121.1	818.6	1912.4	1277.4	507.5	613.9
中国地方	768.6	268.0	361.1	1118.7	487.3	706.5	2351.6	1644.2	435.5	378.2
広島	778.5	454.1	241.6	1526.6	589.9	635.9	3467.7	447.1	604.6	357.0

(注)特化係数 = 各地域の構成比 ÷ 全国の構成比

特化係数が1を超えると、その地域においてその業種の構成比が全国平均よりも相対的に高いことを表し、特化係数が1を下回ると、その地域においてその業種の構成比が全国平均よりも相対的に低いことを表す。

別表 広島県、中国地方及び全国の鉱工業生産指数

(平成22年平均=100)

年・期・月	広島県				中国地方				全国			
	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比
平成 20年	/	/	115.1	▲ 6.0	/	/	112.0	▲ 2.9	/	/	110.7	▲ 3.4
21年			86.2	▲ 25.1			88.1	▲ 21.3			86.5	▲ 21.9
22年			100.0	16.0			100.0	13.5			100.0	15.6
23年			99.9	▲ 0.1			98.9	▲ 1.1			97.2	▲ 2.8
24年			101.9	2.0			94.6	▲ 4.3			97.8	0.6
25年			102.1	0.2			95.4	0.8			97.0	▲ 0.8
26年			104.5	2.4			97.7	2.4			99.0	2.1
平成 20年 I 期	122.4	▲ 2.9	124.2	▲ 0.5	116.9	▲ 0.8	118.8	2.1	116.8	0.3	116.9	2.9
II 期	120.2	▲ 1.8	116.8	▲ 1.8	116.7	▲ 0.2	113.7	2.4	114.8	▲ 1.7	111.9	0.6
III 期	114.8	▲ 4.5	117.0	▲ 3.7	113.8	▲ 2.5	114.4	▲ 0.4	110.5	▲ 3.7	112.0	▲ 1.8
IV 期	102.0	▲ 11.1	102.5	▲ 17.6	99.5	▲ 12.6	101.1	▲ 15.1	99.8	▲ 9.7	102.0	▲ 14.6
21年 I 期	76.5	▲ 25.0	76.6	▲ 38.3	79.9	▲ 19.7	79.7	▲ 32.9	79.3	▲ 20.5	78.1	▲ 33.2
II 期	83.1	8.6	80.4	▲ 31.2	84.9	6.3	82.8	▲ 27.2	83.5	5.3	81.4	▲ 27.3
III 期	91.6	10.2	93.7	▲ 19.9	93.1	9.7	93.9	▲ 17.9	88.6	6.1	89.9	▲ 19.7
IV 期	93.8	2.4	94.2	▲ 8.1	94.6	1.6	96.1	▲ 4.9	94.9	7.1	96.6	▲ 5.3
22年 I 期	100.1	6.7	99.6	30.0	97.5	3.1	97.0	21.7	98.8	4.1	97.5	24.8
II 期	99.2	▲ 0.9	95.9	19.3	100.8	3.4	98.4	18.8	99.8	1.0	97.4	19.7
III 期	98.1	▲ 1.1	101.1	7.9	100.6	▲ 0.2	102.0	8.6	101.1	1.3	103.0	14.6
IV 期	103.2	5.2	103.5	9.9	101.3	0.7	102.7	6.9	100.7	▲ 0.4	102.1	5.7
23年 I 期	99.7	▲ 3.4	98.6	▲ 1.0	99.6	▲ 1.7	98.6	1.6	96.9	▲ 3.8	95.2	▲ 2.4
II 期	98.1	▲ 1.6	95.3	▲ 0.6	98.2	▲ 1.4	96.1	▲ 2.3	92.9	▲ 4.1	91.0	▲ 6.6
III 期	102.0	4.0	104.9	3.8	100.5	2.3	102.1	0.1	99.5	7.1	101.3	▲ 1.7
IV 期	100.8	▲ 1.2	100.8	▲ 2.6	98.0	▲ 2.5	98.9	▲ 3.7	100.5	1.0	101.2	▲ 0.9
24年 I 期	101.7	0.9	102.5	4.0	96.3	▲ 1.7	96.9	▲ 1.7	101.3	0.8	101.5	6.6
II 期	103.6	1.9	101.0	6.0	95.1	▲ 1.2	93.4	▲ 2.8	99.1	▲ 2.2	97.2	6.8
III 期	101.1	▲ 2.4	103.9	▲ 1.0	94.0	▲ 1.2	95.4	▲ 6.6	95.9	▲ 3.2	97.3	▲ 3.9
IV 期	99.7	▲ 1.4	100.2	▲ 0.6	92.5	▲ 1.6	92.6	▲ 6.4	94.1	▲ 1.9	95.2	▲ 5.9
25年 I 期	101.8	2.1	101.4	▲ 1.1	93.2	0.8	92.5	▲ 4.5	94.6	0.5	93.6	▲ 7.8
II 期	102.0	0.2	99.6	▲ 1.4	94.1	1.0	92.3	▲ 1.2	96.1	1.6	94.3	▲ 3.0
III 期	100.4	▲ 1.6	102.5	▲ 1.3	95.9	1.9	97.1	1.8	97.8	1.8	99.5	2.3
IV 期	104.3	3.9	104.7	4.5	98.5	2.7	99.7	7.7	99.6	1.8	100.7	5.8
26年 I 期	105.9	1.5	105.7	4.2	98.9	0.4	97.9	5.8	101.9	2.3	101.3	8.2
II 期	105.0	▲ 0.8	102.5	2.9	98.2	▲ 0.7	96.1	4.1	98.8	▲ 3.0	96.8	2.7
III 期	104.8	▲ 0.2	106.9	4.3	97.3	▲ 0.9	99.1	2.1	97.4	▲ 1.4	98.7	▲ 0.8
IV 期	102.4	▲ 2.3	102.7	▲ 1.9	96.9	▲ 0.4	97.9	▲ 1.8	98.2	0.8	99.2	▲ 1.5
平成 20年 1月	121.7	▲ 4.8	113.2	▲ 2.7	116.0	▲ 2.6	111.5	▲ 0.2	117.0	0.5	108.5	3.2
2月	125.2	2.9	124.0	8.6	117.7	1.5	118.7	7.9	117.3	0.3	117.0	5.9
3月	120.3	▲ 3.9	135.3	▲ 5.9	116.9	▲ 0.7	126.1	▲ 1.1	116.2	▲ 0.9	125.3	0.2
4月	123.0	2.2	116.0	▲ 0.2	118.1	1.0	114.2	3.9	115.5	▲ 0.6	111.0	1.6
5月	117.7	▲ 4.3	110.7	▲ 5.7	117.0	▲ 0.9	110.7	1.2	116.1	0.5	108.7	0.6
6月	119.9	1.9	123.8	0.6	115.1	▲ 1.6	116.1	2.2	112.9	▲ 2.8	115.9	▲ 0.3
7月	116.6	▲ 2.8	123.5	▲ 1.0	115.5	0.3	119.5	2.0	112.7	▲ 0.2	117.9	2.3
8月	116.1	▲ 0.4	108.2	▲ 6.1	113.6	▲ 1.6	107.7	▲ 2.9	108.7	▲ 3.5	101.2	▲ 7.8
9月	111.8	▲ 3.7	119.3	▲ 4.3	112.2	▲ 1.2	116.1	▲ 0.4	110.0	1.2	116.9	0.0
10月	113.5	1.5	114.6	▲ 6.4	110.7	▲ 1.3	111.1	▲ 4.6	107.4	▲ 2.4	111.7	▲ 7.7
11月	103.9	▲ 8.5	103.4	▲ 16.7	97.8	▲ 11.7	98.3	▲ 17.5	100.2	▲ 6.7	100.6	▲ 16.6
12月	88.5	▲ 14.8	89.4	▲ 29.4	89.9	▲ 8.1	94.0	▲ 22.8	91.9	▲ 8.3	93.7	▲ 19.9
平成 21年 1月	72.8	▲ 17.7	67.4	▲ 40.5	78.0	▲ 13.2	74.4	▲ 33.3	83.8	▲ 8.8	76.6	▲ 29.4
2月	74.6	2.5	70.7	▲ 43.0	79.9	2.4	76.7	▲ 35.4	76.6	▲ 8.6	73.5	▲ 37.2
3月	82.0	9.9	91.8	▲ 32.2	81.8	2.4	88.1	▲ 30.1	77.6	1.3	84.3	▲ 32.7
4月	78.9	▲ 3.8	74.1	▲ 36.1	83.0	1.5	80.0	▲ 29.9	81.0	4.4	77.7	▲ 30.0
5月	87.1	10.4	80.3	▲ 27.5	85.7	3.3	80.6	▲ 27.2	84.0	3.7	77.3	▲ 28.9
6月	83.4	▲ 4.2	86.7	▲ 30.0	86.1	0.5	87.7	▲ 24.5	85.6	1.9	89.3	▲ 23.0

(平成22年平均=100)

年 月	広 島 県				中 国 地 方				全 国			
	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比
平成21年 7月	92.1	10.4	98.2	▲ 20.5	93.5	8.6	97.4	▲ 18.5	86.7	1.3	91.3	▲ 22.6
8月	89.5	▲ 2.8	84.1	▲ 22.3	91.4	▲ 2.2	87.0	▲ 19.2	88.0	1.5	82.3	▲ 18.7
9月	93.2	4.1	98.9	▲ 17.1	94.4	3.3	97.4	▲ 16.1	91.0	3.4	96.1	▲ 17.8
10月	95.1	2.0	95.1	▲ 17.0	96.6	2.3	96.5	▲ 13.1	93.3	2.5	95.7	▲ 14.3
11月	92.9	▲ 2.3	93.5	▲ 9.6	94.4	▲ 2.3	95.3	▲ 3.1	95.3	2.1	96.6	▲ 4.0
12月	93.4	0.5	94.1	5.3	92.8	▲ 1.7	96.5	2.7	96.1	0.8	97.6	4.2
平成22年 1月	98.6	5.6	90.8	34.7	97.3	4.8	92.1	23.8	98.5	2.5	88.8	15.9
2月	101.0	2.4	95.2	34.7	97.3	0.0	93.1	21.4	98.9	0.4	94.7	28.8
3月	100.8	▲ 0.2	112.7	22.8	97.9	0.6	105.7	20.0	99.1	0.2	108.9	29.2
4月	101.8	1.0	95.3	28.6	100.8	3.0	96.8	21.0	100.2	1.1	96.2	23.8
5月	99.8	▲ 2.0	92.0	14.6	101.3	0.5	95.4	18.4	100.0	▲ 0.2	92.1	19.1
6月	96.1	▲ 3.7	100.3	15.7	100.4	▲ 0.9	102.9	17.3	99.2	▲ 0.8	103.9	16.3
7月	98.9	2.9	104.9	6.8	101.9	1.5	106.0	8.8	100.3	1.1	104.8	14.8
8月	96.1	▲ 2.8	91.6	8.9	99.9	▲ 2.0	96.1	10.5	100.7	0.4	95.7	16.3
9月	99.4	3.4	106.8	8.0	100.0	0.1	103.8	6.6	102.3	1.6	108.4	12.8
10月	100.2	0.8	99.2	4.3	99.6	▲ 0.4	99.1	2.7	99.4	▲ 2.8	100.3	4.8
11月	104.9	4.7	106.1	13.5	102.4	2.8	103.6	8.7	101.0	1.6	103.2	6.8
12月	104.5	▲ 0.4	105.1	11.7	102.0	▲ 0.4	105.4	9.2	101.6	0.6	102.9	5.4
平成23年 1月	104.9	0.4	97.8	7.7	102.3	0.3	96.9	5.2	102.1	0.5	92.7	4.4
2月	106.2	1.2	100.1	5.1	102.3	0.0	97.5	4.7	102.7	0.6	98.5	4.0
3月	87.9	▲ 17.2	97.8	▲ 13.2	94.1	▲ 8.0	101.5	▲ 4.0	85.8	▲ 16.5	94.4	▲ 13.3
4月	90.8	3.3	84.7	▲ 11.1	95.1	1.1	90.8	▲ 6.2	87.6	2.1	83.3	▲ 13.4
5月	100.0	10.1	92.5	0.5	98.8	3.9	93.6	▲ 1.9	93.6	6.8	87.4	▲ 5.1
6月	103.6	3.6	108.8	8.5	100.7	1.9	103.9	1.0	97.5	4.2	102.4	▲ 1.4
7月	101.5	▲ 2.0	106.6	1.6	100.0	▲ 0.7	103.8	▲ 2.1	98.7	1.2	102.1	▲ 2.6
8月	103.0	1.5	99.4	8.5	101.0	1.0	98.1	2.1	100.4	1.7	96.7	1.0
9月	101.5	▲ 1.5	108.8	1.9	100.6	▲ 0.4	104.3	0.5	99.5	▲ 0.9	105.1	▲ 3.0
10月	100.2	▲ 1.3	98.7	▲ 0.5	98.7	▲ 1.9	98.3	▲ 0.8	101.3	1.8	101.8	1.5
11月	101.1	0.9	102.1	▲ 3.8	98.0	▲ 0.7	98.8	▲ 4.6	99.1	▲ 2.2	100.7	▲ 2.4
12月	101.2	0.1	101.5	▲ 3.4	97.3	▲ 0.7	99.6	▲ 5.5	101.1	2.0	101.0	▲ 1.8
平成24年 1月	101.5	0.3	94.3	▲ 3.6	96.0	▲ 1.3	90.7	▲ 6.4	101.5	0.4	92.8	0.1
2月	101.2	▲ 0.3	100.4	0.3	98.9	0.4	96.5	▲ 1.0	101.3	▲ 0.2	101.5	3.0
3月	102.3	1.1	112.9	15.4	98.2	▲ 0.7	103.6	2.1	101.1	▲ 0.2	110.1	16.6
4月	104.9	2.5	98.1	15.8	97.3	▲ 0.9	91.6	0.9	100.6	▲ 0.5	95.9	15.1
5月	100.9	▲ 3.8	94.8	2.5	96.9	▲ 0.4	90.2	▲ 3.6	98.8	▲ 1.8	94.0	7.6
6月	105.0	4.1	110.2	1.3	95.3	1.2	98.3	▲ 5.4	98.0	▲ 0.8	101.8	▲ 0.6
7月	99.6	▲ 5.1	104.8	▲ 1.7	93.2	▲ 2.2	97.3	▲ 6.3	97.5	▲ 0.5	102.2	0.1
8月	103.9	4.3	100.6	1.2	96.5	3.5	94.0	▲ 4.2	96.1	▲ 1.4	92.7	▲ 4.1
9月	99.8	▲ 3.9	106.4	▲ 2.2	92.2	▲ 4.5	94.9	▲ 9.0	94.0	▲ 2.2	97.1	▲ 7.6
10月	99.2	▲ 0.6	98.5	▲ 0.2	94.0	2.0	91.8	▲ 6.6	94.3	0.3	97.0	▲ 4.7
11月	98.7	▲ 0.5	100.7	▲ 1.4	91.7	▲ 2.4	92.7	▲ 6.2	93.4	▲ 1.0	95.2	▲ 5.5
12月	101.3	2.6	101.3	▲ 0.2	91.8	0.1	93.2	▲ 6.4	94.7	1.4	93.3	▲ 7.6
平成25年 1月	100.5	▲ 0.8	93.5	▲ 0.8	92.6	0.9	88.0	▲ 3.0	94.0	▲ 0.7	86.9	▲ 6.4
2月	103.4	2.9	99.6	▲ 0.8	93.9	1.4	90.4	▲ 6.3	94.8	0.9	91.4	▲ 10.0
3月	101.6	▲ 1.7	111.2	▲ 1.5	93.2	▲ 0.7	99.1	▲ 4.3	95.1	0.3	102.4	▲ 7.0
4月	103.7	2.1	99.0	0.9	96.2	3.2	92.9	1.4	95.7	0.6	92.8	▲ 3.2
5月	103.6	▲ 0.1	97.8	3.2	95.0	▲ 1.2	91.1	1.0	97.7	2.1	93.1	▲ 1.0
6月	98.7	▲ 4.7	102.1	▲ 7.4	91.0	▲ 4.2	92.9	▲ 5.5	95.0	▲ 2.8	97.0	▲ 4.7
7月	104.7	6.1	112.2	7.1	97.9	7.6	102.9	5.8	97.6	2.7	104.1	1.9
8月	97.7	▲ 6.7	92.4	▲ 8.2	94.5	▲ 3.5	90.7	▲ 3.5	97.1	▲ 0.5	92.1	▲ 0.6
9月	98.7	1.0	103.0	▲ 3.2	95.4	1.0	97.8	3.1	98.6	1.5	102.2	5.3
10月	108.6	10.0	107.9	9.5	100.1	4.9	100.5	9.5	99.2	0.6	102.2	5.4
11月	103.3	▲ 4.9	104.9	4.2	98.7	▲ 1.4	100.4	8.3	99.5	0.3	99.8	4.8
12月	100.9	▲ 2.3	101.3	0.0	96.7	▲ 2.0	98.3	5.5	100.0	0.5	100.0	7.2

(平成22年平均=100)

年 月	広 島 県				中 国 地 方				全 国			
	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比
平成26年 1月	107.3	6.3	100.7	7.7	100.6	4.0	96.2	9.3	103.2	3.2	96.2	10.7
2月	105.8	▲ 1.4	102.4	2.8	98.2	▲ 2.4	94.2	4.2	101.0	▲ 2.1	97.8	7.0
3月	104.7	▲ 1.0	114.1	2.6	97.9	▲ 0.3	103.4	4.3	101.5	0.5	110.0	7.4
4月	103.5	▲ 1.1	98.5	▲ 0.5	97.1	▲ 0.8	94.0	1.2	99.2	▲ 2.3	96.2	3.7
5月	107.7	4.1	101.5	3.8	100.3	3.3	95.9	5.3	99.5	0.3	94.0	1.0
6月	103.7	▲ 3.7	107.4	5.2	97.3	▲ 3.0	98.3	5.8	97.6	▲ 1.9	100.1	3.2
7月	104.4	0.7	112.5	0.3	98.4	1.1	105.2	2.2	97.5	▲ 0.1	103.6	▲ 0.5
8月	104.0	▲ 0.4	96.3	4.2	98.3	▲ 0.1	94.1	3.7	96.7	▲ 0.8	89.3	▲ 3.0
9月	106.1	2.0	112.0	8.7	95.3	▲ 3.1	97.9	0.1	98.1	1.4	103.2	1.0
10月	105.6	▲ 0.5	108.1	0.2	97.9	2.7	99.9	▲ 0.6	98.5	0.4	101.7	▲ 0.5
11月	98.4	▲ 6.8	96.4	▲ 8.1	95.1	▲ 2.9	93.6	▲ 6.8	97.9	▲ 0.6	96.1	▲ 3.7
12月	103.3	5.0	103.7	2.4	97.7	2.7	100.2	1.9	98.1	0.2	99.9	▲ 0.1

出所：中国地方 … 「中国地域鉱工業生産動向」（経済産業省中国経済産業局）

全 国 … 「鉱工業生産・出荷・在庫指数」（経済産業省）